

地域活性化伝道師プロフィール		分野	地域産業・イノベーション・農商工連携	○	農・林・水産業	
			地域医療、福祉・介護、教育		観光・交流	◎
			地域コミュニティ・集落再生		環境	
			地域交通・情報通信	○	まちづくり	◎
ふりがな		ふじさき しんいち				
氏名		藤崎 慎一				
所属	名称	株式会社 地域活性プランニング				
	役職	代表取締役				
連絡	住所	〒 105-0003		東京都港区西新橋一丁目 11 番 3 号 虎ノ門アサヒビル7F (職場)		
		E-mail soumu[アットマーク]chiikikassei.co.jp				
	連絡先	TEL 03-5157-0567		FAX 03-5157-0575		
		連絡方法 弊社HP内のお問い合わせからメールにてご連絡ください				
略歴		<p>●<何もないまちに、人を呼ぶ！></p> <p>観光客が訪れる聖地づくりの手法＝「ロケツーリズム」で地域活性化</p> <p>ロケツーリズムとは＝映画やドラマ、情報番組での露出を通じた観光誘客・消費促進・関係人口増加を目指す事業であり、地域にもともとある資源の魅力をエンタメを活用して磨きあげる高付加価値化の手法として全国の自治体で導入が進んでいる。</p> <p>2019年に設立した一般社団法人ロケツーリズム協議会にはのべ631団体の自治体・企業が参画。</p> <p>【プロフィール】</p> <p>1986年(株)リクルート入社。全社マネージャーMVPを2年連続受賞。99年、地域活性事業部GMとして、観光振興をはじめ、雇用・定住等、地域活性に関する企画・プロデュースを行う。</p> <p>2003年(株)地域活性プランニングを設立。住民自立型の地域活性を実現するための仕組みづくりと人材育成を実施。地域の魅力ある資源を効果的にプロモーションする手法として、全国各地で“ロケツーリズム”を展開し、まちづくりに取り組む。</p> <p>【主な委員会等】</p> <p>2019年「一般社団法人ロケツーリズム協議会」会長(観光庁後援)</p> <p>2014年「ふるさとづくり有識者会議」委員(内閣官房)</p> <p>2013年「世界にも通用する究極のお土産フォーラム」プロデュース(観光庁・復興庁)</p> <p>2012年「ロケツーリズム研究会」座長(東京都)</p> <p>2011年「地域再生マネージャー」(地域総合整備財団／ふるさと財団)</p> <p>2010年「地域活性キーパーソン」座長(内閣官房・経済産業省)</p> <p>2009年「地域活性化伝道師」(内閣官房 都市再生本部)</p> <p>2009年「地域力創造アドバイザー」(総務省)</p> <p>2007年「地域中小企業サポーター」(経済産業省)</p>				

※ 公開できる情報のみ掲載しています。

※ 依頼・相談等に伴う謝礼等条件につきましては、双方協議の上、決定してください。

※ メール送信は、[アットマーク]を@に置き換えて行ってください。

	<p>その他</p> <p>「ロケ地データベース委員会」 委員長(愛知県)</p> <p>「愛知観光策定委員会」 委員(愛知県)</p>
<p>著作・論文等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・国内唯一のロケ地情報誌『ロケーションジャパン』(2003年創刊～隔月発行) ・『日経グローバル』(2020年12月号)「ウィズコロナ時代のロケツーリズム」 ・『季刊あおいかぜ』(2005年11月)「ロケ誘致と地域活性化」 ・『週刊トラベルジャーナル』(2005年7月)「まちづくりはひとつづくり～現場を知ること」 ・『運輸と経済』(2005年6月財団法人運輸局)「ロケ支援事業による地域観光の魅力向上」 ・『月刊観光』(2004年5月)「ロケ誘致の効果的な活用戦略」・『ロケーションジャパン』 ・『アール
<p>取組概要</p>	<p>◆インバウンドに向けた国策としても期待が集まる<ロケツーリズム></p> <ul style="list-style-type: none"> ・2016～2019年と観光庁「テーマ別観光による地方誘客事業」に選定。 ・のべ631団体(地方自治体・企業)が参加する「ロケツーリズム協議会」の会長を務め、年5回の開催でセミナー・GWの実施や、旅・情報番組/映画/ドラマの映像制作者とのマッチングを行う他、アワードの表彰、参加団体・個人へ「ロケツーリズム認定証」を発行する。 ・国内外に向け、地域の魅力を効果的に発信する新たなプロモーション方法を学び、各地で実践することで、地方誘客において成果を目指す。経済効果を生んだ成功地域事例が、『ワールドビジネスサテライト』『朝日新聞』『日経新聞』『観光経済新聞』『旬刊旅行新聞』『日経エンタテイメント!!』などメディアでも紹介される。 <p>◆地域プロデュース事例</p> <p>【千葉県旭市】～ふるさと納税寄付額が二倍！テレビ露出増加で「銚子の隣のまち」から脱却</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2022年度より市とシティプロモーションに関する3年間の包括連携を締結。ロケ誘致を推進する協議会を設立し官民一体の体制を組織。 ・『孤独のグルメ』をはじめとする人気ドラマ、情報番組への露出が増加し地元特産品の効果的なプロモーションに成功。 →情報番組で集中的に取り上げられたハマグリを起爆剤にふるさと納税寄付額が増加し、昨年度末の2倍に。 <p>【長崎県島原市】～無人駅が、たった3年で聖地に！ロケ誘致を市長直轄事業として仕組化し、観光客が増加</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東京から飛行機・車で約3時間、ロケに不向きな自治体が市長直轄<ロケツーリズム班>を設立。 ・組織的な対応で制作者のファンが急増、撮影が繰り返された無人駅の大三東駅はロケの聖地に。 →実績の版權を活用し移住政策やシティプロモーションを効果的にPR、成果の秘訣は<メディアでの露出増加>。 <p>【千葉県茂原市】～産業のまちを「ロケで話題のまちもばら」としてブランディング！産業観光×ロケツーリズムの連携へ！</p>

※ 公開できる情報のみ掲載しています。

※ 依頼・相談等に伴う謝礼等条件につきましては、双方協議の上、決定してください。

※ メール送信は、[アットマーク]を@に置き換えて行ってください。

	<p>・2018年に「千葉もばらロケーションサービス」を設立、市内17の団体を組織しオール茂原のロケ対応。</p> <p>・大人気ドラマから世界配信作品まで幅広い作品を受け入れ、実績を市内商業施設や図書館、JRと協力し展示。</p> <p>→受け入れ作品は250件以上！撮影隊の滞在による直接経済効果は1億円を突破！</p> <p>・ロケをきっかけに地元企業と連携を促進し産業観光を事業化、観光庁の優良事例に選出。</p>		
<p>メッセージ</p>	<p>私の役目は、地域の“良いところ”やそこで活動している人の“強み”を引き出すための『コーチング』。地域のみなさんが、誰かに頼るのではなく「何のため」、「誰のため」、「どうなりたいのか」を自ら考え、一人ひとりが汗をかいて頑張れるような自立型の地域活性を目指しています。</p> <p>また、地域を応援する雑誌『ロケーションジャパン』の発行人も務めています。国内初のロケ地情報誌であり、地域独自の資源を再発見できると、マスコミから一般読者の方まで幅広い購読者です。まちづくりの主役となる地域の人々が、「どのように活動して」、「どう変わったか」というBefore・Afterが見えてきますので、ぜひご一読ください。</p> <p>未来のふるさとの為に、一過性に終わらない、持続可能な地域活性のお手伝いをしています。</p>		
<p>関連ホームページ</p>	<p>●地域活性プランニング https://www.chiikikassei.co.jp/</p> <p>●ロケーションジャパン https://locationjapan.net/</p> <p>●ロケなび！ https://locanavi.com/</p> <p>●LJマルシェ https://ljmarche.jp/</p> <p>●一般社団法人ロケツーリズム協議会 https://locatourism.com/</p>	<p>活動エリア</p>	<p>全国</p>

※ 公開できる情報のみ掲載しています。

※ 依頼・相談等に伴う謝礼等条件につきましては、双方協議の上、決定してください。

※ メールの送信は、[アットマーク]を@に置き換えて行ってください。